

講義名	流通政策		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	長坂 泰之		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング/2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

(1) 授業内容の全体像・・・日本の流通・商業政策を中心とした流通・商業の現場で起きている事象について学ぶ授業です。理論中心ではなく、実際の生の現場の事例を中心に、流通・商業の実態を学びます。
(2) 当科目の意義・・・流通・商業は実は政策と密接に関連しています。もし自分で商売をするということになった場合でも流通・商業政策を理解しているかしていないかで商売の成否に大きな差が出ることもあります。
(3) 関連する問題の状況や課題の背景・・・特に地方では流通・商業も含め経済状況は非常に厳しく、「地方創生」がキーワードになっています。流通・商業面から見た地方創生について、みなさんと一緒に考えていきます。
(4) 仕事として生かせるか・・・厳しい現場で生き残っている地域・商業は、それぞれ理由があります。その理由を知ること、地域の経営、商業の経営について学ぶことができます。

到達目標

(1) 知識について
①この授業を履修すると、日本の流通・商業の移り変わりや政策と関わりがあることがわかります。
②この授業を履修すると、日本と海外とのまちづくりの違いがわかります。
③この授業を履修すると、商店街が元気がない理由がわかります。
④この授業を履修すると、日本各地の元気が取り組みがわかります。
⑤この授業を履修すると、まちに関わる様々な人の考え方がわかります。
(2) 興味・関心・態度について
①この授業を履修すると、商店街や大型ショッピングセンターの見方が変わります。
②この授業を履修すると、自分の生まれた地域や住んでいる地域の商業の見方が変わります。
③この授業を履修すると、地域資源・地域の魅力について興味を持つようになります。
④この授業を履修すると、地域における人の重要性について理解できます。
⑤この授業を履修すると、自分たちの価値・役割について考えるようになります。
(3) 能力について
①この授業を通じて、これからの地域商業の活性化に大切な視点が身につきます。
②この授業を通じて、自分で商売をするときの心構えが身につきます。

提出課題

「授業で参考になったこと」（毎回提出・出欠を兼ねる）。
期末定期試験を実施します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

必要に応じて「授業で参考になったこと」をフィードバックします。

評価の基準

70% 「授業で参考になったこと」（要提出・出欠を兼ねる）
30% 期末定期試験
期末定期試験の変換は必須とします。また、授業への出席が半分以上（8回）を必須とします。
なお、期末定期試験で、まったく同じ内容のものが提出された場合、その全員をD評価とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・時間は厳守です。原則として遅刻は欠席扱いになりますので注意してください（聴講はできます）。
- ・毎回の授業で授業資料を配布します。必ず受け取ってから出席してください。
- ・講義は教科書に添って進むので、教科書を購入してください。

教科書	中心市街地活性化のツボ	長坂泰之	学芸出版社	2,000円	978476152510

プリント資料及び参考文献

参考書として、「商業まちづくり政策」（渡辺達朗著、2014年、有斐閣）
「商業まちづくり政策」（加藤司、石原武政編著、2009年、中央経済社）
「100円商店街、バル、まちゼミ」（長坂泰之編著、2012年、学芸出版社）
「失敗に学ぶ中心市街地活性化」（横森豊雄、久場清弘、長坂泰之著、2008年、学芸出版社）

授業計画

第1回	イントロダクション、この講義が目指すところ 日本の商業の衰退の現状（熊本県の郊外とまちなか）
第2回	我が国中心市街地衰退の要因、熊本の取り組み
第3回	我が国の流通政策の変遷①政策は20世紀初頭からの約100年間で目まぐるしく変化
第4回	我が国の流通政策の変遷②振興施策と調整施策
第5回	東日本大震災被災地の商業復旧・復興策
第6回	中心市街地活性化のツボ ～現場目線から流通政策に触れる～ 「リーダーシップとタウンマネジメント」
第7回	あるまちの中心市街地活性化の取り組み期末試験内容提示（予定）
第8回	「卸売業の方向性と戦略」
第9回	「地域の強みを徹底的に磨く」
第10回	「まちのファンを育てる／まちの役者を育てる」
第11回	まちと個店の魅力②（バル・まちゼミ）
第12回	「つながる／連携する／回避する」
第13回	「イメージアップと情報発信を意識する」
第14回	「不動産所有者を巻き込む／所有と使用の分離」
第15回	総括 私たちは流通政策から何を学んだのか？

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
○ エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】
教科書「中心市街地活性化のツボ」は講義の前に章ごとに読んでおくこと。
【復習】
「授業で参考になったこと」から、自らの将来に役に立ったことについて振り返りを行うこと。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義の内容により必要に応じてグループワークをし、グループの議論した結果を発表してもらいます。正解はありません。自由な発想で考え、発言してください。

実務経験の有無及び活用

【実務経験あり】
教科書「中心市街地活性化のツボ」に掲載されている20以上の事例は自ら実務として関わった事例もしくは現地でのヒアリングをもとにその成功要因などを分析したものです。中小企業診断士（経済産業省）、地域活性化伝道師（内閣府）などで培われた経験を生かした講義をすることとなります。

備考